

久留米大学医学部看護学科同窓会だより



ふたば

発行所

久留米大学医学部  
看護学科同窓会

総数：5,861名

(令和4.3.31現在までの卒業生数)

(題字：故 藤井名誉顧問)



旧 看護専門学校校舎



令和6年夏 完成予定  
看護学科新校舎完成予想図



## ご挨拶



## 同窓会会長

兒玉 尚子  
(I部16回生)

若葉の美しいさわやかな季節となりました。會員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

新會員の皆様におかれましては、コロナ禍で臨地実習が思うようできないまま社会人となり、希望より不安が大きい中、社会人としての第一歩を踏み出されたのではないのでしょうか。

令和3年度7月の総会を経て、佐藤和美前会長の後を引き継ぎましたI部16回生の兒玉尚子です。どうぞよろしくお願ひ致します。私は看護専門学校を卒業したのち、久留米大学に就職し、病院で看護師として9年、看護専門学校と看護学科で教員として17年間勤務しました。そして、職業人生の最後は臨床現場という思いから病院に戻り、10年間臨床現場での教育に携わっています。

同窓会役員としては、看護専門学校に異動した平成6(1994)年から活動させていただいています。代議員になったと同時に会計、そして副会長として、そして現在に至っています。この年は看護学科が設立され、同時に同窓会も看護専門学校から看護学科へと大きく変わった年でありました。私事ですが、平成6年に姪が産まれ、その姪を見ると、看護専門学校への異動や同窓会との出会いを思い出します。これからは、藤井・秋山・秦元会長をはじめ同窓生の皆様も築いてこられた歴史を絶やすことのないよう、「會員相互の親睦、連携および福利厚生を図ることを目的とし、久留米大学医学部看護学科および久留米大学の発展に寄与する」という同窓会の目的のもと、佐藤前会長にご指導いただき、さらに三役をはじめとする多くの方のご協力を得ながらその任に努めて参ります。

この原稿を書いていたときは「オミクロン株」が猛威を振るい、第6波真ただ中で「医療逼迫」を、身をもって感じているところでした。「ふたば」が皆様のお手元に届くころには、コロナ収束に向かっていることを祈るばかりです。

令和2(2020)年度の総会・懇親会は中止、令和3(2021)年度は総会のみ代議員のみで開催いたしました。令和4(2022)年度も、感染対策を考慮し、午後からの懇親会は中止とし、午前中の総会のみを開催する予定です。総会での審議・報告事項をはじめ、久留米大学、看護学科、そして大学病院・医療センターの動きなど、この「ふたば」に掲載していきます。皆さまも「ふたば」をお読み頂き、ご意見やご感想をいただくと幸いです。

最後になりましたが、看護学科は令和6年(2024)には創立30周年、久留米大学は令和10年(2028)に創立100周年を迎えます。同窓会では看護学科および久留米大学のご意見を伺いながら具体的な取り組みを図ってまいります。これを機に多くの同窓生に同窓会に一層目を向けていただければと考えております。

久留米大学医学部  
看護学科  
学科長

三橋 睦子  
(I部11回生)



冬の名残のまだ去りやらぬ時候

長引くコロナ禍での不自由な生活ですが、同窓会の皆様におかれましては、人々の生命と生活を守るために、懸命に感染予防と健康改善に取り組んで頂き、心より敬意と感謝を表します。

2019年12月に発生したCOVID-19は、今もなお世界にコロナ禍での困難な生活を強いており多大な影響を与えています。それは、看護教育においても同様で、卒業式、入学式、あのか祭、戴帽式等々、多くの催事が残念ながら開催時期をずらし、収容定員を削減し、短時間に、静かに開催されたり、あるいは中止になっています。また、リモートや分散での講義、演習、実習、学年ごとの時差登校や、指定席での会話のない昼食など、どれも学生達には深い影を落としています。食べ盛りの学生さんが、休み時間ごとに間食をし、大きな声で騒いでいる様子は、ずいぶん昔のように感じます。

さまざまな形で試行錯誤していますが、この経験から私たちは何を得て、どう変わっていくのか、未来を語る時期に来たと思います。ゆるぎない看護の本質を貫くための現場の方法が変わっていくように、看護教育の質を担保するために、今生きている人々の命を守るための看護がいかにあるべきかを、あらゆる人々としっかりと議論すべき時が来たと思います。今後とも皆さまからのご指導ご意見を賜わり、一層のお知恵を拝借できれば幸いです。

## 顧問

佐藤 和美  
(I部2回生)



令和4年度の総会・懇親会は三度目の縮小・中止になりました。このご挨拶を記している現在、新型コロナウイルス感染症第6波まん延防止等重点措置の真っ只中、自粛期間です。丸2年こういった生活の繰り返しですから、感染対策の知識や技術も学んで、個人がその家族や周辺の人々の健康と幸せを守るために取るべき行動も自然に身についたと感じます。

さて私は、藤井、秋山、秦、佐藤と引き継いだ会長職を昨年の総会で第5代となる兒玉会長に引き継ぎました。そして三役や幹事会には看護学科卒業の方々が役員として多く名を連ねています。このように役員会も若返りをして、新しい発想の下、もうすぐ30周年を迎える学科、「学問の府」としての同窓会活動が益々盛んになることと期待しています。

会長職を退いてみますと気持ちが全く楽になったことに気づきました。多くのことは役員の皆様がやって下さっていたわけですから、何という難しいお仕事をしていたわけでもないのに・・・この解放感には自分でも驚きました。思い返せば昭和の終わりに久留米大学の60周年記念を機に書記として故高尾さんの後を継いで同窓会活動に身を置いた私でした。30数年の間に、先代会長のもとに「名簿作成」や「ふたばの発刊」「事業計画」「予算計画」などなど、組織の基盤創りに携わらせていただきましたことが自身の宝物になったと感謝しています。

### 久留米大学 医療センター 看護部長

原崎 礼子



緑風の候、初夏の青空が気持ちよく感じられる季節になりました。同窓生の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の猛威は続き、平穏な日常はいつになるのか見通しがつきません。昨年度は、軽症～中等症患者の受入れや地域外来・検査センターの他に、新たに近隣施設への出張PCR、院外医療従事者対象のワクチン接種など、地域医療に貢献できるようにチーム一丸となって取り組んでまいりました。患者さんやご家族が安心して医療センターを利用して頂けるように、看護部ではコロナ禍での新しい看護の力を創意工夫してまいりました。オンライン面会は顔を合わせるだけでなく、他職種も参加し患者さんの回復状況を家族に見てもらったり、ケア会議や在宅に向けて地域の医療・介護従事者と情報共有を行う事ができ、ご家族には大変喜ばれております。現在は、新たな取り組みとして、久留米大学文学部の学生さんと協同し、QRコードを活用した非接触型の入院前オリエンテーションや日常生活の注意点など、ご家族と一緒に何回も繰り返し閲覧できる動画を作成しています。医療センター看護部は、コロナ禍でも患者さんのために何ができるのか日々考えながら、更なる新しい看護の力を発揮できるよう邁進してまいります。

今後も「心が通い、信頼される医療」を理念とし、地域の皆さまに親しまれる病院を目指し、看護の質の向上に努めてまいります。同窓会の皆さまのご指導ご支援宜しくお願い致します。

### 久留米大学病院 看護部長

國武 栄子

(I部17回生)



薫風さわやかな季節を迎え、同窓生の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。今年度、久留米大学病院看護部長に就任いたしました。同窓生の皆様に「ふたば」を通してご挨拶の機会をいただき感謝申し上げます。

一昨年からの新型コロナウイルス感染拡大により、久留米大学病院においても現行の看護体制では対応しきれない状況が次々と発生しました。新型コロナ感染症患者対応に伴う、病床機能の変更、PCR、ワクチン、発熱外来等の新しい業務への対応、看護職員の頻繁な勤務異動など急激な変化を求められました。久留米大学病院の役割と責任を自覚し、職員それぞれの専門性や強みを活かして力を合わせることで、対処すべき難局を乗り越えていくことができたと思います。

一方でコロナ禍の中、デジタル化が促進されました。通信機能付きバイタルサイン測定器を導入し、バイタルサインの未入力、誤入力、タイムラグのリスクの軽減につながりました。また、全学メールシステムが Google 社の Google Workspace™に変更され、オンライン会議やカレンダー機能、アンケート機能などを活用し、利便性が増しています。昨年度は院内看護研究発表会もオンラインで開催することができました。

感染対策のためコミュニケーションの機会が減少しましたが、様々なツールを活用し、職員間の対話を促進し相互理解を深め、共に学び、育ち、高めあう職場環境づくりに努めていきたいと思っています。



入部久子先生：右端

## 入部久子先生の 若かりし日の一コマ

”入部先生”と親しみを込めて呼ばせていただきます。入部先生は昭和39年28歳の時に久留米大学に看護師養成所(全日制3年課程)を開設するために赴任されました。そして昭和41年、久留米大学医学部附属高等看護学校に、校長の船津先生、専任教員の松尾・山本・小林先生とともに教務主任として1回生を迎えられたのです。

佐藤は2回生として入学したのですが、若々しく美人で、優しくも厳しい側面を併せ持つ入部先生は私たち学生の憧れの看護師像であり、自慢の先生でした。ある時、清潔不潔の演習をしていた時に、実習室の遠方から、突然『不潔っ！』と突き刺さるような入部先生のおおきな声が飛んできた時には、どこに目がついているのかしらと驚いたものでした。また、そのころは全寮制でしたので、専任教員の先生方も交代で寝泊まりし、学生と生活を共になさっていて、学生は終始監視されているようで窮屈な思いでしたが、今考えると先生たちの方が大変だったのですよね。規則正しい生活、集団の規律、環境整備、特に掃除の仕方は親からも褒められるくらいに上達したと思います(笑)。

私が母校の専任教員として戻った時も、教え子の私を一人の教員としての責任と権限の在り方を教えてくださいました。部下を信じ対等に尊重して管理する姿勢も学びました。

臨床での副看護部長時代、平成6年に4年制大学に移行しての教授時代、退任されてからも尚、看護学校で「家族看護」の講義にと、4月で86歳になられる今現在もお元気でです。

(文責・佐藤 和美)



令和3年度の同窓会総会は7月17日久留米大学筑水会館イベントホールにおいて新型コロナウイルス感染症対策のため懇親会を実施せず総会のみ開催しました。参加者は代議員のみで参加人数を制限した縮小開催とし、当日はマスク使用、体温測定を行い、感染予防対策を実施して開催しました。総会出席者は34名でした。総会は、福井智子さん(一部23回生)の司会により以下の式次第にそつて順次進められました。

- 一、開会の辞
- 一、黙祷
- 一、会長挨拶
- 一、受賞者紹介
- 一、議事
  - (1) 庶務報告
    - ① 諸会議報告
    - ② 活動内容報告
  - (2) 会計決算報告
  - (3) 監査報告
  - (4) 次期事業計画(案)
  - (5) 次期予算(案)
  - (6) 会長・副会長承認
  - (7) その他
- 一、新役員紹介
- 一、感謝状贈呈

令和3年度 同窓会会計決算

<収入の部>

△: 予算より増 2021.4.1 ~ 2022.3.31

| 費目            | 予算額        |            | 決算額        |            | 差額       | 備考              |
|---------------|------------|------------|------------|------------|----------|-----------------|
| 1. 会費         | 4,675,000  |            | 4,778,900  |            | △103,900 |                 |
| 1) 学科入会金(準会員) |            | 1,800,000  |            | 1,785,000  |          | 学科28回生1.5万×119名 |
| 2) 会費(終身)     |            | 2,875,000  |            | 2,850,000  |          | 学科25回生2.5万×114名 |
|               |            |            |            | 143,900    |          | 終身会費督促分(7名)     |
| 2. 懇親会        | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        | 開催中止            |
| 3. 雑収入        | 500        |            | 136        |            | 364      |                 |
| 1) 受取利息       |            | 500        |            | 136        |          | 預金利息            |
| 小計            |            | 4,675,500  |            | 4,779,036  |          |                 |
| 4. 前年度繰越金     | 13,563,249 |            | 13,563,249 |            |          |                 |
| 合計            |            | 18,238,749 |            | 18,342,285 |          |                 |

<支出の部>

| 費目           | 予算額       |            | 決算額       |            | 差額      | 備考                            |
|--------------|-----------|------------|-----------|------------|---------|-------------------------------|
| 1. 総会費       | 500,000   |            | 400,961   |            | 99,039  |                               |
| 1) 会場        |           | 0          |           | 0          |         |                               |
| 2) 飲食代       |           | 0          |           | 0          |         |                               |
| 3) 印刷・発送費    |           | 500,000    |           | 385,132    |         | 資料、封筒印刷、ふたば送料込み               |
| 4) 雑費        |           | 0          |           | 15,829     |         |                               |
| 2. 役員会       | 350,000   |            | 195,699   |            | 154,301 | 役員会<br>三役会・幹事会・代議員会           |
| 1) 日当(交通費込み) |           | 330,000    |           | 190,000    |         |                               |
| 2) 雑費        |           | 20,000     |           | 5,699      |         |                               |
| 3. 実行委員会     | 220,000   |            | 28,238    |            | 191,762 | 2021年度総会実行委員会<br>(総会企画・ふたば編集) |
| 1) 日当        |           | 120,000    |           | 28,000     |         |                               |
| 2) 交通費       |           | 50,000     |           | 0          |         |                               |
| 3) 雑費        |           | 50,000     |           | 238        |         |                               |
| 4. ふたば編集     | 420,000   |            | 365,465   |            | 54,535  | ふたば28号<br>4,500部印刷<br>クオカード、他 |
| 1) 印刷費       |           | 380,000    |           | 332,000    |         |                               |
| 2) 執筆御礼      |           | 30,000     |           | 22,840     |         |                               |
| 3) 雑費        |           | 10,000     |           | 10,625     |         |                               |
| 5. 看護学科補助    | 1,670,000 |            | 1,633,957 |            | 36,043  |                               |
| 1) 学友会補助金    |           | 1,000,000  |           | 1,001,100  |         |                               |
| 2) 卒業記念品     |           | 345,000    |           | 324,786    |         | 証書ホルダー                        |
| 3) 戴帽式       |           | 180,000    |           | 163,071    |         | 戴帽式キャップ・エンブレム                 |
| 4) 式典用花代     |           | 45,000     |           | 45,000     |         | 入学式、戴帽式、卒業式花代                 |
| 5) 予備費       |           | 100,000    |           | 100,000    |         | 日本看護研究研究学会 第26回九州・沖縄地方海学術集会寄付 |
| 6. 消耗品       | 110,000   |            | 66,093    |            | 43,907  |                               |
| 1) 事務用品費     |           | 60,000     |           | 6,107      |         | 印刷用紙、封筒等文具代                   |
| 2) 郵送代       |           | 50,000     |           | 59,986     |         | 往復はがき、切手、郵送代                  |
| 7. 渉外費       | 210,000   |            | 52,015    |            | 157,985 |                               |
| 1) 慶弔費       |           | 50,000     |           | 4,015      |         |                               |
| 2) 交際費       |           | 60,000     |           | 48,000     |         | 会議・式典出席の日当・交通費                |
| 3) 予備費       |           | 100,000    |           | 0          |         |                               |
| 8. 事務費       | 727,596   |            | 665,691   |            | 61,905  |                               |
| 1) 事務員給与     |           | 600,000    |           | 615,780    |         |                               |
| 2) コピー       |           | 13,996     |           | 14,256     |         | コピー機レンタル、トナー交換代               |
| 3) 電話料金      |           | 3,600      |           | 2,105      |         | 固定電話代                         |
| 4) その他       |           | 50,000     |           | 33,550     |         | wi-fiレンタル・ウイルスバスター更新          |
| 小計           |           | 4,207,596  |           | 3,408,119  |         |                               |
| 9. 次年度繰越金    |           | 14,031,153 |           | 14,934,166 |         |                               |
| 合計           |           | 18,238,749 |           | 18,342,285 |         |                               |

- 一、実行委員長挨拶
- 一、閉会の辞
- 一、次年度担当回生紹介

令和2年度同窓会総会以降の受賞者は、自民党表彰 高倉美里さん（I部14回生）、福岡県勤労者知事表彰 國武栄子さん（I部17回生）、福岡県看護協会会長表彰 堤徳恵さん（I部15回生）、垣添美由紀さん（I部16回生）、平嶋ゆかりさん（I部17回生）、福岡県医療・介護及び教育等に従事する看護職員に対する知事表彰 小山由香里さん（I部17回生）、医学教育等関係業務功労者表彰 井上真美子さん（I部14回生）が紹介されました。

議事は樺島結花さん（I部19回生）、宮原聖也さん（学科13回生）によってスムーズに進行され、同窓会会員の皆様の承認を得ることができました。

本来、令和2年度が役員改選年度でしたが新型コロナウイルス感染症予防のため総会が中止となり、9月に代議員の改選とし、三役員は1年間継続することになりました。

今年度、佐藤会長が退任、兒玉尚子副会長（I部16回生）の会長新任が承認されました。任期は令和4年度の総会までの前残任期間となります。

兒玉新会長から樺勇三郎さん（学科1回生）の副会長新任の紹介のあと、長年会長を務められた佐藤和美さん（I部2回生）に感謝状と記念品が贈呈されました。

- 書記 築地原幸子（II部11回生）  
水落 裕美（学科5回生）  
会計 首藤 敏夫（学科4回生）  
岡村 光子（学科7回生）

<収入の部>

2022.4.1 ~ 2023.3.31

| 費目            | 予算額        |            | 備考              |
|---------------|------------|------------|-----------------|
| 1. 会費         | 4,400,000  |            |                 |
| 1) 学科入会金(準会員) |            | 1,650,000  | 学科29回生1.5万×110名 |
| 2) 会費(終身)     |            | 2,750,000  | 学科26回生2.5万×110名 |
| 2. 懇親会        | 0          | 0          |                 |
| 3. 雑収入        | 500        |            |                 |
| 1) 受取利息       |            | 500        | 預金利息            |
| 小計            |            | 4,400,500  |                 |
| 4. 前年度繰越金     | 14,934,166 |            |                 |
| 合計            |            | 19,334,666 |                 |

<支出の部>

| 費目           | 予算額       |            | 備考  |
|--------------|-----------|------------|---|
| 1. 総会費       | 500,000   |            |   |
| 1) 会場        |           | 0          | 会場費等（久留米大学会議室使用のため）                             |
| 2) 飲食代       |           | 0          | 懇親会飲食代  |
| 3) 印刷・発送費    |           | 500,000    | 資料、封筒等印刷、ふたば送料込み                                |
| 4) 雑費        |           | 0          | 余興謝金等   |
| 2. 役員会       | 350,000   |            |   |
| 1) 日当(交通費込み) |           | 330,000    | 三役会・幹事会・代議員会<br>3,000円×(幹事会:20名×2回、代議員会:35名×2回) |
| 2) 雑費        |           | 20,000     |   |
| 3. 実行委員会     | 220,000   |            |   |
| 1) 日当        |           | 120,000    | 令和4年度総会実行委員会<br>ふたば29号編集委員                      |
| 2) 交通費       |           | 50,000     |   |
| 3) 雑費        |           | 50,000     |   |
| 4. ふたば編集     | 420,000   |            |   |
| 1) 印刷費       |           | 380,000    | 4,500部  |
| 2) 執筆御礼      |           | 30,000     | 1名あたり1,000円の記念品                                 |
| 3) 雑費        |           | 10,000     | 原稿等郵送費  |
| 5. 看護学科補助    | 1,685,000 |            |   |
| 1) 学友会補助金    |           | 1,000,000  | 学友会補助金  |
| 2) 卒業記念品     |           | 360,000    | 3,000×120名                                      |
| 3) 戴帽式       |           | 180,000    | 戴帽式キャップ・エンブレム(1,500円×120名分)                     |
| 4) 式典用花代     |           | 45,000     | 15,000円×3回(入学式、戴帽式、卒業式)                         |
| 5) 予備費       |           | 100,000    |   |
| 6. 消耗品       | 110,000   |            |   |
| 1) 事務用品費     |           | 60,000     | 封筒、印刷用紙、インク等文具                                  |
| 2) 郵送費       |           | 50,000     | 往復はがき、切手  |
| 7. 渉外費       | 210,000   |            |   |
| 1) 慶弔費       |           | 50,000     |   |
| 2) 交際費       |           | 60,000     | 会長等、会議・式典出席の日当・交通費                              |
| 3) 予備費       |           | 100,000    |   |
| 8. 事務費       | 727,596   |            |   |
| 1) 事務員給与     |           | 660,000    | 55,000円×12ヶ月                                    |
| 2) コピー       |           | 13,996     | レンタル料(13,996円/年)                                |
| 3) 電話代       |           | 3,600      | 電話代300円×12ヶ月                                    |
| 4) その他       |           | 50,000     | wi-fiレンタル(32,400円/年)                            |
| 小計           |           | 4,222,596  |   |
| 9. 次年度繰越金    |           | 15,112,070 |   |
| 合計           |           | 19,334,666 |   |

令和4年度 同窓会会計予算(案)

# 令和3(2021)年度の総会を担当して



実行委員長  
市川 博美 (I部23回生)

令和3年度同窓会総会はI部10回生、23回生、II部5回生、看護学科10回生が実行委員を務めさせていただきました。前年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、総会・懇親会が中止となりましたが、令和3年度の総会・懇親会をどのように開催するのか、同窓会役員の皆様を中心に何度も話し合いが行われました。残念ながら懇親会は中止となりましたが、総会は役員と代議員のみの出席と規模は縮小されるものの、開催すると決まっただけは安堵いたしました。そして、皆様には感染対策も含めて様々な協力をいただき、無事に総会を終えることが出来ました。心より感謝申し上げます。

総会では役員改正が行われ、長年、同窓会活動にご尽力された佐藤和美前会長が勇退されました。同窓会発足となった貴重なお話を伺い、同窓会の歴史に思いを馳せるとともに、この同窓会に身を置く一人として、気が引き締まる思いでした。ふたばは予定通りに発行し、皆様のお手元に届けることができました。例年であれば、同窓会や懇親会などの写真を掲載していたのですが、新型コロナウイルス感染症のため様々な行事が中止となり、掲載する写真について悩みました。ふたばの構成をどのようにするか話し合いを重ね、懐かしい写真と現在の写真を掲載し、「看護教育今昔」というテーマでふたばを構成することになりましたが、お楽しみいただけでしょうか。

新型コロナウイルス感染症は私たちの生活を大きく変えました。緊急事態宣言が何度も発令されて自粛生活となり、マスクをしていることが日常となりました。当初は、「ワクチンができれば」「治療薬ができれば」元の生活に戻れるのではないかと、皆が思っていたのではないかと思います。しかし、変異を続けるウイルスに、まだまだ予断を許さない状況です。久留米大学病院でも、新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、患者を受け容れるための病棟編成、人事異動、ワクチン接種のための人員確保等が行われ、急速な変化を求められました。この未曾有の感染症に対応するためには、医師や看護師だけでなく、他のコメディカル、事務や教員など職員全員の協力が不可欠で、一致団結して取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症が日本に上陸して2年目となりました。ウイルスと共存した新しい生活様式の確立が言われておりますが、新型コロナウイルス感染症の終息を願い、皆様のご健康とご多幸を祈っております。



# 学科便り

## 卒業生の動向



看護学科4年生担当  
古村美津代  
(1部15回生)

令和4年3月22日(火)、筑水会館にて久留米大学医学部看護学科の卒業式が挙行され、25回生114名に学位記が授与されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な制限の中での卒業式となりましたが、卒業生全員が晴れやかな表情で巣立っていききました。国家試験の結果は、看護師(既卒含)、保健師、助産師、全員合格でした。さらに看護師学校別合格者数は、全国第6位という素晴らしい結果となりました。感染状況の中、講義や実習等限られた環境ではありましたが、一人ひとりが自分の目標に向かって努力し、つかんだ結果だと思えます。本年度の卒業生の進路状況は、看護師102名、助産師課程進学8名、保健師1名、大学院進学1名でした。久留米大学病院には、46名の採用をいただきました。今年度は、看護師の採用試験の時期が早まったことや新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい就職活動となりましたが、地元での就職希望が多く、約9割の学生が九州圏内の就職となりました。同窓会の皆様には、入学式、戴帽式等、折にふれ温かいご支援をいただき、深く感謝申し上げます。これまで経験したことがないパンデミックの中、看護師としての第一歩を踏み出す卒業生を今後とも温かくご支援、ご指導賜りますよう、お願い申し上げます。

## 学生生活を振り返って



永岡 玲奈  
(学科25回生)

4年間の学生生活を振り返って、長いようであつという間だつたと感じます。部活動やアルバイト、文化祭などの学校行事を通してたくさん仲間と出会い、勉強との両立をしながら友人とともに充実した学生生活を過ごせました。特に、3年次の臨地実習での学びは私自身にとつて濃いものでした。コロナ禍の実習ということもあり、日常生活の中で制限されることも多く、精神的にもきついなと思うこともありましたが、先生方や実習班の仲間に支えられて乗り越えることができました。4年間、多くの経験をし、たくさん仲間と出会い、支えられ、「看護師」という夢に向かって切磋琢磨できたことを、これからの人生に生かしていきたいです。



石橋 孝平  
(学科25回生)

4年間で振り返って、多くの人に支えられ、看護だけでなく人としても多くのことを学んだように感じます。右も左も分からずドキドキしながら講義室に入ったり、実習先の患者さんに挨拶をしたあの頃から家族や大切な友人たちに支えられ4年が経とうとしています。

学生生活では実習をはじめ戴帽式や部活動、解剖実習に国家試験など多くのイベントがあり、その一つ一つが私の財産です。そして、最高の友人と出会い充実した日々を過ごせました。本当にありがたう。4月からは新しい土地・環境で新生活が始まります。たくさん辛いことやキツイこともあると思いますが、学生生活で学んだ沢山の事を活かして友人たちと楽しく乗り越えていきたいと思えます。

## 研究室だより：精神看護学



左から、福浦講師、舞弓准教授、松島助教

精神看護学  
福浦 善友  
(学科3回生)

様々な施策が行われて十数年たちますが、約37%の退院患者が再入院しています。そのため、新たな地域精神保健医療体制にむけて、多職種連携や再入院予防等に関する看護支援のあり方を考えなければなりません。

そこで、舞弓准教授、松島助教、福浦の3名が在籍する精神看護学領域では、精神医療の現状を踏まえた「入退院を繰り返す成人中期患者への精神科看護師が抱く葛藤」の研究に取り組み、効果的な退院支援について探求しています。

また、新型コロナウイルスが発生するまでは、福岡県内の医療福祉関係者を交えた事例検討会を年4回実施し、多職種連携を意識した支援について検討を重ねてきました。その内容の多くは、児童思春期に対する支援についてでしたが、大学教育においても、臨地実習で学生が児童思春期の患者さんを受け持つことが多くなってきたことから、患者さんの発達課題や生活過程への理解が深まるような教育がこれまでに必要となつてきています。

同窓生の皆様には日頃よりご指導いただき感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援賜りますようよろしくお願い致します。

## 大学病院活動報告

### 特定行為看護師の活動



杉島 寛  
(学科7回生)

久留米大学病院では、今年度より看護師による特定行為が開始となりました。特定行為を実施している部署は、サージカルICUと中央手術部の2部署で、私はサージカルICUで特定行為を実施しています。サージカルICUで特定行為を実施している特定看護師は2名で、38行為のうち11行為を実施しています。特定看護師でも修了した研修により実施できる行為に違いがあり、私は主に動脈血液ガス分析関連と呼吸器関連の特定行為を実施しています。

特定行為の対象となる患者さんは、術後人工呼吸器離脱困難や急変で一般病棟より入室となった患者さんとなります。これらの患者さんに対して、医師から指示された手順書にもとづき、特定行為を実施します。サージカルICUでは、主治医が手術で不在となることも多く、患者さんの状態に応じたリアルタイムな介入ができないことも多々ありました。しかし、特定看護師がいることで、主治医不在でも手順書に沿って、患者さんの状態に併せたりアルタイムな介入ができます。例えば、主治医が不在でも人工呼吸器の設定を離脱できる状態まで変更したりできます。特定看護師は、医師の負担軽減はもちろん、患者さんのストレスを最小限にし、安楽なケアへとつなぐことができる存在だと思っています。さらには、看護師への教育的な役割も担っているとあります。今後も研修での学びを自部署や院内に還元し、看護の質の向上に寄与していきたいと思っています。



### 「つなぐ」医療 造血細胞移植コーディネーターの活動



白井 麻奈美  
(学科12回生)

久留米大学病院血液・腫瘍内科では、年間約30件の造血細胞移植が行われています。造血細胞移植はドナーがなければ成り立たず、患者にとってリスクの高い高度専門医療です。また、その課題に取り組むために多職種で構成されるチーム医療が展開されます。この「患者」「ドナー」「医療スタッフ」の三極に対し、中立的立場で支援・調整を担う専門職種として、2012年に造血細胞移植コーディネーター(HCTC)が誕生しました。

私は病棟看護師として移植看護を行う中で、血縁ドナーを支援したい、より専門的知識をもって移植に携わりたいという思いからHCTCになりました。HCTCは、患者さんやご家族には移植適応と判断された段階、ドナー候補となった血縁者には選ばれた段階から介入し、三者の意思決定から移植退院後までの全段階において継続的にサポートを行います。同時に、移植に携わる他職種や院外関連施設との連絡調整を横断的に行います。どの職種よりも患者さんやご家族、血縁ドナーと長く関わるため、「この人に話したら安心できる」と思っていただけのような存在になれたらというのが、私が目指すひとつの理想形です。そして、介入する中で得た情報や抽出した問題を移植チームで共有し連携していくこともHCTCの役割であると思っています。

活動を始めて2年が経過した今、この「つなぐ」医療にやりがいを感じながら、ひとりでも多くの人により良い移植治療を提供できるよう活動していきます。



## 医療センター活動報告

### 久留米大学医療センターにおける KICS (Kurume Integrated Care System) の取り組み



丸山 紀子  
(I部21回生)

「KICS：キックス」とは、「誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる久留米」を目指し、久留米医師会を中心に医師会管轄内を北部・中央・南西の3つに分けて、在宅医療提供体制の構築を図ることを目的として活動しています。久留米大学医療センターは、久留米南西地区の中核病院としての重要な役割を担っています。定期的な地区部会を開催し、システム構築の課題検討や事例検討会なども行っています。特にICT(情報ネットワークシステム)「とびうめネット」「とびうめネット多職種連携」「アザレアネット」を利用し、患者の情報共有を多職種で連携することを推進しています。入院時には、とびうめネットについて分かりやすくしたチラシを作成しお配りしています。特にとびうめネット多職種連携は、コロナ禍で直接の連携が困難な状況で、iPad利用し画像も含めた情報交換もできます。(LINEのように)コロナ禍であっても地域の医療や介護を支えるスタッフとの連携が出来る、質の高い退院支援にもつながります。2022年度は、介護分野への普及も検討され今後ますます、久留米大学医療センターは地域に開かれた病院として重要な役割を果たすべくKICSの活動を推進していきたいと思えます。

### 「看護学教育研究振興資金」を開設

看護学科長 三橋 睦子

平素より本学教育活動に格別の御理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今般の新型コロナウイルス感染症への対応においては、リモートや座席間隔を空けての授業、食事や授業の座席指定、健康確認や感染予防行動等、種々ご協力を頂き、重ねて感謝申し上げます。

医学部看護学科は、平成6年に開設し当時全国で30番目、西日本では初めての私立系看護大学でしたが、その後急速に看護系大学が増加し、2021年度290校以上に増加しております。各大学が競合する中、人間性豊かな実践的人材の育成を基本理念とし、久留米大学病院に隣接する本学科は、臨床に強い人材育成を目指しています。近年の医学の進歩・発達と医療技術の向上に伴い、人々の治療への取り組み方や生活は大きく変化し、そこに寄り添う看護学の知識・技術の格段の科学的根拠に基づく進化が求められています。こうした教育のためには、より高度な教育・研究、看護実践をおこなう必要があり、そのため施設及び設備の充実、運営に多くの財源を必要としています。

そこで、看護学教育の充実・振興を目的とした「久留米大学医学部看護学科教育研究振興資金」を2021年3月に設置し、皆様からのご支援により更なる教育の充実を図る所存です。

つきましては、経済状況もいまだ厳しい折から誠に恐縮ではございますが、本資金の趣旨にご賛同頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、ご寄付につきましては、税制上の優遇措置(寄付金控除)の対象であり、また、任意となっておりますことを申し添えます。

また、ご寄付をいただいた方におかれましては、看護学科広報誌「はなみずき」にお名前等を掲載させていただきます。(なお、希望されない方は、その限りではありません。)

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、皆さまのご健勝とご清栄をお祈り申し上げます。

# イキイキ同窓生だより



松枝美智子  
(I部16回生)

恩師・同窓生の皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度、同級生の兒玉尚子同窓会会長からのお声掛けで執筆の機会を頂いたことに心より感謝申し上げます。

同級生よりも8歳年上の私ですが仕事に社会貢献活動と忙しい日々を送っています。その中で近年とみに感じるのは、恩師や同窓生の皆様方

のありがたさです。先ず現在の職場は看護学科第1期生の兒玉ゆう子教授(星槎大学大学院教育学研究科修士課程長)のお誘いで福岡県立大学を定年退職後に就職した職場です。また現在私は九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会という団体の代表を務めていますが、そこにご協力いただいているのも、看護学科や大学院の修了生の方々、久留米大学病院で勤務されている看護職者の方々です。このように恩師や同窓生の皆様方の多大なご協力や支えがあってはじめて今日の私があり、私の社会貢献活動があります。このことに心から感謝しつつ、今しばらく私に与えられた社会的な使命を果たしていきたいと思っておりますので、変わらぬご指導・ご鞭撻をお願いいたします。皆様方の益々のご多幸とご活躍を祈念しています。



木村久美子  
(I部5回生)

リタイア後、軽い気持ちで応募したことがきっかけで、私は※JICAのシニアボランティアとして発展途上で看護教育に携わることになった。最初の派遣国、ソロモン諸島の大学では、教科書が無い(貧しいため)、教材は乏しい(筋肉注射の練習に茄子を使っていた)、停電は日常茶飯事、水不足、インターネットに至っては言わずもがなで、発展途上国の実情を、身をもって知った。後の派遣国ミャンマーでは臨床ナースの指導が任務であったが、いざ行ってみると殆どのナースが英語を解しないことが判明。さらなる一撃、師長が「上司が決めたこと、我々は経験豊富なので今更指導など必要ない」と言い放った。しかしこういうことは『JICAあるある』なので、たとえ涙したとしても自分を奮い立たせ切り拓いていくしかない。現地の人々と同じものを食し(度々食中毒に見舞われた)、現地の人々と同じ目線に立つ努力をし、やっと楽しさとやり甲斐を感じられるようになった頃、任期が終了。コロナの流行を機に私はボランティア活動に終止符を打ったが、振り返れば途上国やそこに住む人々から学んだことの何と多かつたことか。年齢を忘れて突っ走った8年間でもあった。

※JICA日本国際協力機構



濱崎 明子  
(II部6回生)

私は、事務の仕事を経て看護師を目指しました。若い人に混じって勉強するのは若さを貰い又、医学の勉強は興味深く知事喜びを感じて勉強しました。病院では患者様の命を助ける事に生きがいを感じて日々忙しく過ごして来ました。患者様が良くなって笑顔で退院されるのが共に喜びでした。又、個人的には趣味も色々させて頂きました。

数十年がアツと言う間に過ぎ、定年後は去年までデイサービスで働き、今はゆっくりと過ごしています。看護師という尊い仕事を選んで私には一番合っていたと思います。

数年前、II部6回生のクラス会に参加しました。大分経っているのに面影はあり、嬉しい再会でした。皆さん立派にそれぞれの職場で生き生きと職責を果たされている様子で感心致しました。

このコロナ禍の今、医療者の皆さんは大変ご苦労なさっています。私がお場にいたら果たしてこの難局を乗り越えられたらどうか?と時々思います。何もお手伝いは出来ませんが、せめて迷惑を掛けない様に配慮して生きて行きたいと思っております。



村上 道子  
(I部28回生)

私は、久留米大学医学部付属看護専門学校を1995年に卒業し、平成9年4月に医療センター旧3病棟に就職しました。消化器外科病棟で、当時は3交代勤務、ナースキャップが少しお気に入りでした。7年間勤務後、同手術室に14年勤めました。その間、医療センターも新しく建て替わり、手術件数も増える中、機能分化があり、医療センターは関節外科センターとなりました。目まぐるしく時が流れて、2019年2月に同4階西入院棟に異動となり、3年が過ぎようとしています。現在の病棟は地域包括ケア病棟として患者さんを在宅に繋げるための関わりを行う入院棟です。在宅に1日でも早く、安全・安心して退院できるようにするには看護師の関わりはとても重要であることを知らされました。医療センターでの勤務は24年にもなります。顔見知りも多く、仕事もとてもやりやすく感じております。

これまで元気で仕事を出来るのも、看護師として育ててくれた先生方、同級生、また両親、家族に恵まれていたからだと思います。感謝しております。コロナ禍で厳しい情勢ではありますが、これからも頑張っていきたいと思っております。



松藤 香  
(学科12回生)

私が働いている久留米大学病院高度救命救急センターは、三次救急医療施設であり、重症患者はもちろん、広範囲熱傷や指肢切断急性中毒等の特殊疾患患者も受け入れていきます。

また、ドクターヘリやワークステーションドクターカーなど病院前救急、災害時には災害拠点病院としてDMAT活動にも取り組んでいます。

救命センターに配属されて数年が経ちましたが、普段の患者さんの療養生活援助だけでなく、集中治療看護、初療室での救急看護、病院前救急看護、様々な事を経験し学んできました。これはこの救命センターでなければ経験できなかったことばかりです。

救命センター配属3年目の時ドクターカー搭乗がきっかけとなり、病院前救急の勉強を始めましたが、現場によって傷病者の状況その時のメンバーによって活動の流れも変わってきます。病院前救急ではより個々の役割が重要なため、自己の技術や知識をもっと磨きたいという意識変化にもつながりました。

自分のいる環境によって経験できることが違ってくると思いますが、何を経験したいのかを考える事はモチベーションを上げ、自己の成長にもつながります。学び経験出来る今の環境を今後も大切にしたいと思っています。



土師 健  
(学科24回生)

社会に貢献する看護師になることを目指し、期待と不安を抱きながら久留米大学病院に迎え入れられ、早一年が経過しました。プリセプター・先輩方の熱心なご指導と仕事を通して、看護師としての倫理感、感性と言った心、看護に必要な知識、技術などの技、そして貢献していくための土台となる健全な体、それら心技体を高めることができた一年でした。

私が所属するサージカルユニットは心臓外科、脳外科、消化器外科、その他各診療科における大きな手術を終えた患者様に対して、集中的な治療や看護を提供する病棟であり、患者様の重症度が高いため、緊張感がある職場です。疾患の勉強は大変ですが、少しずつ患者様の状態をアセスメントし、看護を提供できるようになり、やりがいを感じています。当部署には集中ケア認定看護師があられ、定期的に、オンライン勉強会を開催していただき、人工呼吸器、CHDFなどの医療機器について学びを深めています。

久留米大学で学んだ知識や感性、そして一緒に学んだ仲間が私の宝であり、これからもみんなと一緒に頑張っていきたいです。将来に渡り、日々の学びを増やし、患者様の個別性に合わせた看護を提供していきたいと思っています。

## 地域で活躍している卒業生

医療法人聖峰会 介護老人保健施設サンライフ聖峰

副施設長兼介護事業部事務局



局長  
久富 瑞穂  
(I部1回生)

平成18年3月に大学病院を退職後、久留米市東部に位置する360床（現在は343床）の田主丸中央病院に就職し、地域医療に携わってきました。大学病院とは違う急性期から回復期までの幅広い看護の統括として、14年間過ごしました。その後令和3年4月から、同法人の介護事業部に異動し現在に至ります。介護事業部は老健施設、地域密着型サービス課、通所健康増進課、訪問サービス課、ケアマネジメント課を有し介護サービス全般を担っています。病院ではどうしても疾病に重きを置き、その人となりにかかわりを持つことが少なくなりますが、介護はまさにその人の人生を含め全体像を見なければ利用者との絆は生まれません。介護者と利用者としてその家族の協働でしか先に進めないように感じています。高齢化が進み独居の方、老々介護、問題は山積みですが行政の力を借りながら【時々入院、ほぼ在宅】でその人が自分らしく生きられるための支援をこれからも続けていこうと思っています。末尾になりましたが大学出身の看護師4名と一緒に地域医療と健康寿命の延伸の為に頑張っています。

## 令和4年度 同窓会案内

- 日 時 令和4年7月23日(土)
- 総 会 10:30～12:00
- 場 所 久留米大学医学部基礎3号館  
1階セミナー室

今年度の懇親会は中止とします。

担当回生 I部11, 24回生  
II部6回生  
学科11回生

## 同窓会活動

1. 総会と懇親会の開催(年1回)
2. 代議員会・幹事会・三役会の開催
3. 機関誌「ふたば」発行(年1回)
4. 同窓会名簿の管理
5. 会員・準会員・関係者の慶弔に関すること
6. 看護学科の諸行事に出席・贈花  
◇入学式、戴帽式、卒業式  
◇卒業生に記念品贈与
7. 看護学科の学友会への支援
8. その他  
◇看護学科の主催する学会や研究会への支援  
◇他学部同窓会との連携

## お悔やみ申し上げます(敬称略)

|        |            |         |
|--------|------------|---------|
| 17回生   | 安永 タカエ(神代) | R1/8/25 |
| 20回生   | 山津 セイ(諸永)  | R3/8/4  |
| 35回生   | 上野 ヒトミ(原口) | R4/2/25 |
| 44回生   | 渡辺 弥生(勘米良) | R3/1/24 |
| 44回生   | 林 逸子(本園)   | R2/9/18 |
| I-1回生  | 成清 陽子(田中)  | R3/9    |
| I-1回生  | 牧田 起代子     | R3/12   |
| I-17回生 | 古閑 敏江(生野)  | R3/9/14 |

(令和3年4月以降に連絡頂いた方です)

## 同窓会事務室案内

場 所: 看護学科B棟(旧専門学校校長室)  
住 所: 〒830-0003  
久留米市東櫛原町777-1

2022年8月より校舎改築のため、しばらく移転します。  
御用のある方はTELまたはメールにて連絡してください。

時 間: 月・木9時～13時まで  
事務代行者待機の曜日と時間  
その他はFAXをご利用ください。

TEL: 0942-31-7590 (内線3960)  
FAX: 0942-37-0322  
URL: <http://nurse.kurume-u.ac.jp/>  
メール: [kurume\\_kango\\_dousoukai@yahoo.co.jp](mailto:kurume_kango_dousoukai@yahoo.co.jp)

## 投稿のお願い

久留米大学医学部看護学科同窓会だより「ふたば」では、同窓生の多方面での活躍を、幅広く知っていただきたく、皆様からの自薦・他薦での投稿を心よりお待ちしております。



編集委員  
 畝 蓉子(学科11回生)  
 川口 明花(学科11回生)  
 森光 美和(1部24回生)  
 小西 博美(1部24回生)  
 松尾 教子(1部24回生)  
 安部 友子(学科11回生)

編集後記  
 同窓会の皆様のご支援を受け賜り、無事にふたば29号を発行することができました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。皆様にお寄せ頂いた、思い出が詰まったふたばをお読み頂き、皆様の更なる力になる事を、編集委員一同心より願っております。  
 編集委員一同